



教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人、人を育てる人、人を導く人、人を救済することにある。

豊岡市は八割を森林が占め、海岸部山岳部の多くが国立・国定公園に指定される多彩な自然に恵まれている。中でも学校の位置する

戸牧の丘は、青々として背後に迫る広大な山林に一塊の明るい学校群が堂々と相對峙し、その姿はまこと俗を離れて学問に打ち込む場にあふわしい。基礎学力と進路に適合した学力の充実を図る近大豊岡中高的教育課程には、国公立大学や難関私立大学への進学実現に向け密度の濃い学習を優先する文理コースⅠ・Ⅱと自己の適性を見極め学習と部活動の両立を図りながら進学を実現する進学コース、他に附属豊岡中学校における中高六カ年一貫教育のコースがある。衛星放送授業、志望大学別補習、夏季の宿泊特別セミナー、ホームステイ語学研修など最新の方法を取り入れた様々なプログラムが授業を支え、著名人による教育講演会や志望大学見学会における先輩との交流は受験生活の緊張を明るく未来志向に展開する貴重な機会となっている。特に語学研修はニュージーランドにある姉妹校と提携し、夏休み中の英語講座、短期・長期の留学のほか支援研修生との交流など生きた英語を通じて異文化コミュニケーションが図られ語学力の向上につながっている。

このような努力は結果で報われる。「現役による大学合格者九五%以上」が近大豊岡中高的特色の一つであるが平成一九九一年度大学入試合格者は国公立・準大学九三人、私立大学四七九人、しかも名門大学が多いという実績を挙げている。このようにして近大豊岡中高は地元はもとより遠く京阪神の地より集まる俊秀の中から多くの人材を育成し、今日名門進学校としての地位を不動のものにしている。

### 但馬・丹後の地に 名門進学校の地位を築く

す附属中学校の開設があり、来年平成二二年には創立四十五周年を迎える。やがて但馬の空一杯に羽ばたくであろうコウノトリの気品と誇りに満ちた姿はまさに近大豊岡中高生徒の化身のようでもある。

「入学式で世耕先生が一人ひとりに自ら手渡してくれたあの赤い革ケースの手鏡を旧友はどうさっているでしょうか」——ある第一期生は今なお手放せないのは古びた手鏡ではなく、それにこめられた「心の美人であれ」という先生の言葉であるという。花も実もある誠実な人となることを説いた知・徳・体感を育てる「梅の四訓」は男女共学となった今日に教育の支柱根として脈々と引き継がれている。

優れた教育環境で 充実した青春を送る

六二、〇〇〇平方メートルの校地にある自然と最先端の施設設備を持つ校舎・校庭は学習はもとより学校行事・クラブ活動を活発にせずにはおかない。森閑とした茶室「瑞雲庵」と剣の音響く「武道館」は静動相対して文と武の道場の象徴といえる。遠く親元を離れた生徒には、向雲寮(男子)、豊明寮(女子)の学生寮も用意され、学間に打ち込むだけでなく、人間関係を構築する力をも育んでいる。

名門大学に入る頭のいい子は自ずと学校生活を充実する術を心得ているのか、はたまた学校生活を充実する余裕が大学合格の頭脳を育てるのか、コウノトリも碧空に翼を広げ地上のわが同志をじっと見守っているに違いない。

豊岡市は八割を森林が占め、海岸部山岳部の多くが国立・国定公園に指定される多彩な自然に恵まれている。中でも学校の位置する

戸牧の丘は、青々として背後に迫る広大な山林に一塊の明るい学校群が堂々と相對峙し、その姿はまこと俗を離れて学問に打ち込む場にあふわしい。基礎学力と進路に適合した学力の充実を図る近大豊岡中高的教育課程には、国公立大学や難関私立大学への進学実現に向け密度の濃い学習を優先する文理コースⅠ・Ⅱと自己の適性を見極め学習と部活動の両立を図りながら進学を実現する進学コース、他に附属豊岡中学校における中高六カ年一貫教育のコースがある。衛星放送授業、志望大学別補習、夏季の宿泊特別セミナー、ホームステイ語学研修など最新の方法を取り入れた様々なプログラムが授業を支え、著名人による教育講演会や志望大学見学会における先輩との交流は受験生活の緊張を明るく未来志向に展開する貴重な機会となっている。特に語学研修はニュージーランドにある姉妹校と提携し、夏休み中の英語講座、短期・長期の留学のほか支援研修生との交流など生きた英語を通じて異文化コミュニケーションが図られ語学力の向上につながっている。

このようにして近大豊岡中高は地元はもとより遠く京阪神の地より集まる俊秀の中から多くの人材を育成し、今日名門進学校としての地位を不動のものにしている。



なぎなた部 自然科学部

### 「建学の源流」を現代に問う

教育のあり方が問われているいま、私学の重要さが再認識されている。私学は創立者の教育に対する情熱と不易の建学精神に培われ、公立学校ではできない独自の教育が、社会に有為な人材を育成してきた。



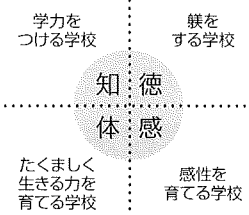
学校法人 近畿大学  
**近畿大学附属豊岡高等学校・中学校**  
 創立1964年(昭和39年) 〒668-0065 兵庫県豊岡市戸牧100 <http://www.kindai-toyooka.ed.jp/>

日本の名門校  
 《新ベスト100》  
 【私立中学高校編】



「知・徳・体・感」  
 近畿大学附属豊岡高等学校・中学校  
 校長 佐竹 清太郎

本校は、コウノトリが悠然と舞う豊岡の地に、近畿大学の附属高等学校として創設されて、今年で44年目を迎えます。以来、学校改革に取り組み、兵庫県北部唯一の私学進学校として着実に実績を伸ばしてきております。現在は、中学校も開設し、中高一貫教育にも力を入れております。教育の目的は、「人に愛される人」「人に信頼される人」「人に尊敬される人」を育成することにある、という創設者の世耕弘一先生の教えを根幹に置き、「知・徳・体・感」の調和のとれた人間の形成を図ることを目標に、多彩な教育を展開しております。本校の教師は、生徒が指導内容を完全に理解できるまで手を離さず指導します。そしてまた、生徒の主体性を重んじ生徒の疑問、質問には懇切丁寧に対応します。これらは大きな評価を得ており、本校の特徴の一つとなっております。今後も社会・人類の発展に貢献し得る優れた人材を育成するため、右のような学校づくりに日々努力を積み重ねてまいります。



コウノトリの化身となつて羽ばたく

近畿大学附属豊岡高等学校・中学校の位置する兵庫県豊岡市は、国指定の特別天然記念物でかつ県鳥でもあるコウノトリの郷として全国に名高い。日本最後の生息地となったこの地で昭和四〇年から人間と自然が共生する環境作りに向かつてその保護・増殖が図られ、平成一七年には自然放鳥されて、

人里で野生復帰を目指す世界に類のない壮大な取り組みが今日に続いている。

近畿大学初代総長世耕弘一が地域の熱烈な誘致運動に応じて豊岡の地に本校の前身近畿大学附属豊岡女子高等学校を開校したのは昭和三九年のことである。奇しくも東海道新幹線開業、第一八回オリンピック東京大会開催と期を一緒にしている。その後、男女共学に伴う校名変更や中高一貫教育を目指

### 但馬の豊かな丘に梅花の高き志を育てる